

日 時	発 表 者	連絡先	発表・配布先
令和7年10月24日（金）	（公財）ひょうご産業活性化センター 経営推進部長 水島 豪士 （成長支援課長 中筋 雅之）	078-977-9118	

「成長期待企業」（2025年度第2四半期選定）の情報提供について

（公財）ひょうご産業活性化センターでは、県内の中小企業支援機関等で構成する「中小企業支援ネットひょうご」事業の一環として、成長が見込める元気な企業を「成長期待企業」として発掘・選定し、企業の成長に向けた各種支援を実施しています。

この度、新たに下記の4社（累計626社）を選定しましたので、その企業の概要をお知らせします。

1 （株）新興商運（一般貨物自動車運送事業・倉庫業）

運送×保管がワンストップ 倉庫を持った運送会社！

(1) 沿革等

- 同社は、1971年(昭和46年)に田正司忠氏（現代表の父）が多可郡加美町にて創業した。1991年(平成3年)に有限会社新興商運として法人化。2001年(平成13年)に現代表の田正司知祐氏が入社し、2005年(平成17年)に代表取締役役に就任した。2008年(平成20年)に有限会社から株式会社新興商運に改組。2011年(平成23年)に現本社地の多可郡多可町中区に移転し、現在に至る。

(2) 当社の特徴

- 同社は、多可町にて一般貨物自動車運送業と倉庫事業を行っている事業者である。運送事業では、部品サプライヤーからメーカーの工場への直送定期便を主とした工業製品の輸送を得意としている。長年培った配送ノウハウと協力会社とのネットワークを活かして、急なオーダーや繁忙期のオーダーへの柔軟な対応力を強みとしている。また、元気な挨拶・清潔な身だしなみ・綺麗な車両を徹底しており、荷主のニーズに沿った荷役作業で高品質なサービスを提供している。



4t、6T、14tのウィング車
19台に12t、14tの平車3台が
荷物の種類や納入場所に合わせ
て、ほぼ100%稼働している

(3) 今後の展開

- 倉庫を保有することで、荷待ち時間を削減し、配送ルート最適化や、積載効率の改善などトータルコストの削減とさらなるサービス品質の向上を図っていく。また、サプライヤーの商品を一時的に保管するなどのサービスを強化することで、サプライヤーとの結びつきを強める。倉庫を起点とした他エリアの運送業者とのネットワークの構築により、今までにない取引や連携を生み出して、さらなる成長を目指す。



1,400坪の自社倉庫を保有。
一時保管だけでなく、検品・ピッキング・セット組・梱包などの顧客の要望に柔軟に答えている

【(株)新興商運 概要】

代 表 者： 田正司 知祐
資 本 金： 1,000万円
従業員数： 36名（内パート4名）
所 在 地： 多可郡多可町中区安楽田663
設 立： 1991年（平成3年）4月
電話番号： 0795-30-0120
ホームページ： <https://shinko-shoun.net/>



電動機のトータルエンジニアリング！

(1) 沿革等

- ・同社は、1947年(昭和22年)に現社長の祖父(喜久男氏)が、船舶モーターコイル巻替え事業で東和電機工業所を神戸市兵庫区にて創立した。1991年(平成3年)に本社工場を神戸市兵庫区笠松通に移転。同年、現社長の父(信喜氏)が株式会社東和電機を法人設立した。2010年(平成22年)に、現社長の高口明浩氏が代表取締役社長に就任した。2015年(平成27年)に神戸市西区に西神戸工場を開設。2021年(令和3年)に社名を株式会社TOWATECHNOへ変更し、現在に至る。

(2) 当社の特徴

- ・同社は、船舶向け電動機(モーター)のメンテナンス会社として創業し、直流・交流モーターのコイル巻替修理から、販売、改造、オーバーホール、現場出張作業や現場でのトラブルシューティングまで行う船用電動機の総合メンテナンス会社へと成長した。創業時から長年培った技術力により、直流モーターのコイル巻替えにも対応できる全国でも数少ない修理会社である。国産・外国産を問わず、多種多様なモーター修理・メンテナンスが可能で、特に港外や岸壁停泊中に修理する「沖修理」を得意としており、出航までの限られた日程で修理を完了させる機動力と技術力を有している。



同社の原点 コイル巻替え作業



船舶へ訪問して作業する沖修理を得意としている

(3) 今後の展開

- ・船用エンジン整備のニーズ増加に対応して、エンジン整備事業を拡大するため、若手を中心に技能者育成に努める。また、新規サービス事業として、金属素材を傷つけずにタービンなどの繊細な部位へのクリーニングが可能なクリーンレーザーシステムを導入し、モーター修理事業とのシナジー効果で売上の拡大を図る。

【(株)TOWATECHNO 概要】

代表者：高口 明浩
資本金：1,000万円
従業員数：22名(内パート0名)
所在地：神戸市兵庫区笠松通6-1-7
設立：1991年(平成3年)7月
電話番号：078-990-3335
ホームページ：https://towatechno.com/



3 神田工業(株) (液晶ディスプレイの貼合加工の受託製造等)

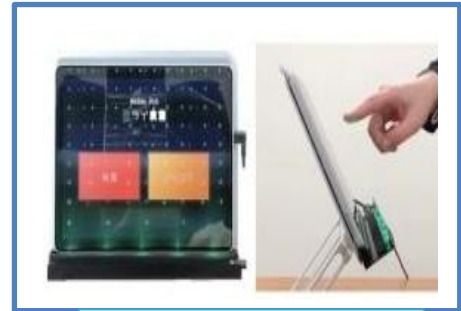
革新を続け、新たな価値を創造し続ける！

(1) 沿革等

- ・ 同社は、1970年(昭和55年)に高島禎治氏(現会長)が兵庫県姫路市にて粉体空気輸送装置メーカーとして創業した。2005年(平成17年)に中国蘇州有限公司を設立。2013年(平成25年)に人材派遣業を営む神田BS(株)を設立。2018年(平成30年)に社内発のベンチャー企業であるMIRAI BAR(株)を設立し、2021年(令和3年)に(株)バンガードシステムズを事業承継した。2022年(令和4年)に(株)Piezo Sonicと業務資本提携して、現在に至る。

(2) 当社の特徴

- ・ 同社は、液晶ディスプレイの貼合加工等の受託製造等を主要事業とする製造請負会社である。産業機器、医療機器、車載機器メーカーを中心に、視認性・耐環境性が要求される法人顧客へカスタム設計によるOEM・ODM(開発設計段階からの受託製造)供給を行っている。特に屋外用途や特殊環境向けの高輝度・高耐久性能を備えた製品の加工に卓越している。同社は、常に新たな技術への挑戦を続けており、社内ベンチャー企業の設立、事業承継、出資を行って独自製品の開発を進めている。



社内発ベンチャー企業のMIRAI BAR(株)が開発した非接触のIR(Infrared)式タッチセンサ

(3) 今後の展開

- ・ 新事業として、二輪車用グリップヒーター(工業用ゴム製品)の製造に取り組む予定である。グリップヒーターの製造は、新規工法を採用して、生産性を大幅に向上させる。二輪車のハンドル用グリップヒーターの市場ニーズは今後も継続すると見込まれており、製造を受託することにより、売上の拡大を目指す。



バイク・スノーモービル等のグリップ部に装着する電熱ヒーター

【神田工業(株) 概要】

代 表 者： 高島 一郎
資 本 金： 6,000万円
従業員数： 200名(内パート5名)
所 在 地： 姫路市神田町3丁目6番地
設 立： 1970年(昭和45年)9月
電話番号： 079-298-1594
ホームページ： <https://www.kanda-kogyo.co.jp/>



常に挑戦するエンジニアリング集団！

(1) 沿革等

- ・ 同社は、1947年(昭和22年)に現社長の父が、ケーブルトレイの設計、製作、取付工事等の事業で(株)堀工業所を設立した。2001年(平成13年)に現社長の堀芳明氏が代表取締役役に就任し、ジェイ・トレイ(株)を設立した。2010年(平成22年)に本社を明石市樽屋町に移転。2012年(平成24年)に大手ゼネコンで土木設計の経験を積んだ現専務の堀文平氏が入社。2013年(平成25年)にベトナムに当社全額出資のベトナム法人(J-T E C)を設立し、現在に至る。

(2) 当社の特徴

- ・ 同社は、原子力発電所や石油プラント等のケーブルトレイの設計、製作、据え付け工事および解析・開発支援を主に行う事業者である。原子力発電所の難易度の高い課題や厳しい基準をクリアするために培ってきた高精度で高品質な設計力・解析力・製作力を誇る。また、一貫通貫で設計・解析・製作・工事のすべてに対応できるようにワンストップ・プラントエンジニアリングの体制を構築している。工事部門は、プラント設備工事に加え、土木建築工事も一括で請負うことで、他社との差別化を図り、高い競争優位性を確立している。



熱膨張による設備破壊等を防止するため、「超高压ケーブル」を支えるトレイをスネーク状に設計している。培ってきた設計力で伸縮を吸収する技術を誇る

(3) 今後の展開

- ・ 今後は、これまで培ってきた技術と3D解析技術を使った新たなデジタルツイン技術(仮想空間でリアル空間を再現する技術)を融合させたメンテナンス提案により、メンテナンス市場への進出を図る。また、同社が開発した溶接不要で強い強度を持つサポート(特許申請中)を市場に浸透させることで、施工管理とともに半導体プラントなどの市場に進出を図る計画である。



プラント設備工事は、すべての工事を自社で一括対応することでスムーズな施工を実現

【ジェイ・トレイ(株) 概要】

代表者：堀 芳明
資本金：2,000万円
従業員数：116名(内パート2名)
所在地：明石市樽屋町8-34
設立：2001年(平成13年)12月
電話番号：078-920-9260-
ホームページ： <https://www.j-tray.co.jp>



〔参考〕成長期待企業について

1 概 要

経営革新や新たな技術・製品・サービスの開発などに取り組んでいる県内の中小企業を応援するため、(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関として中小企業支援機関をネットワーク化した「中小企業支援ネットひょうご」を構築しています。

このネットワークを活用し各種の支援を実施することにより、売上・利益・雇用の面での成長が期待できる企業を「成長期待企業」として選定し、企業の成長に向けて集中的に支援を実施する（原則２年間）制度を設けています。

平成15年以降、600社を超える中小企業を選定しています。

2 選定基準

以下の選定基準（選定基準より一部抜粋）をもとに委員会にて企業を選定します。

- ① 成長が期待される元気な中小企業である。
- ② 「中小企業支援ネットひょうご」の構成機関による支援策が有効に活用される業種・業態の企業である。
- ③ 県内に主たる事業所を有する企業である。
- ④ 経営方針（経営理念、具体的目標、ビジョン）がある。
- ⑤ 経営革新・第二創業や新たな技術、製品、サービス等の開発の要素がある。
- ⑥ 支援策の活用により今後３年間に於いて、売上、利益、雇用のいずれかで成長が見込める企業である。

3 選定企業への支援

「成長期待企業」として選定された企業は、次の支援メニューを活用できます。

- ① 「コンサルティング支援」（原則２年間）
当センターの総括コーディネーター・マネージャーによる指導・助言
- ② 「専門家派遣事業による支援」（原則２年間）
ひょうご産業活性化センターの専門家派遣事業に係る費用負担の軽減
- ③ 「情報提供支援」
異業種間での経営者同士の情報交換機会の提供（ひょうご成長期待企業定例会を奇数月開催）
- ④ 「企業PR支援」
「中小企業支援ネットひょうご」のホームページ上に選定企業として掲載